



7
 2017

主題 (2016/2017)	
国際会長	Friendship across the borders Let us walk in the Light-together 「国境なき友情」 「ともに、光の中を歩こう」
アジア会長	Respect Y's Movement Solidify the Ys Men Family for Better World. 「ワイズ運動を尊重しよう」「よりよい世界のため、Ysファミリーの絆を強めよう」
西日本区理事	Healthy mind&healthy body make healthy club 2022年にむけて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
中西部長	Hope for the Future 「未来には希望がある」
大阪クラブ会長	Exchange the Neighborly Love 「隣人愛を実践しよう！」

会長	牟 大 盛
直前会長	北 村 知
副会長	三 森 嶋 弘
	豊 島 正
書記	利 本
会計	脇 博
ブリテン	清 水 汎
連絡主事	

【今月の聖句】

「塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、
 あなたがたは何によって塩に味をつけるのか。
 自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。」
 マルコによる福音書 第9章50節

【聖句に寄せて】

牟 大盛

今も昔も塩は、ある種命の基本要素と言えます。日本の戦国時代に敵に塩が無く苦しんでいるとき、敵陣に塩を送って戦いが出来るまで待つという、武士にも情け、ないし敵塩という美談、美德があります。聖書では、我々のなかに塩気を持ちなさいとっています。言葉を換えれば、塩=愛ではないでしょうか。私たち、ワイズダムに愛がなければ、塩気のない食べ物と言えるのです。今、YMCAは勿論、ワイズメンも急激な時代の変遷に巻き込まれて、多様な価値観と対応が望まれています。また、明日でなく、今行動するべきことが多々あります。

また、聖書では信仰・希望・愛のうち大いなるものは、愛である、とっています。7月から、新年度を迎えます。先輩が築かれた伝統と歴史に安住することなく、来年、5年後、そして10年後を見据えた計画と、実践プログラムを組む時、何事にも塩気、つまり愛を忘れずに進めたいものです。皆様が、どんな場合でもPEACE MAKERとなられますことを、願って止みません。

【7月例会プログラム】 (KICK-OFF, EMC-C強調月間)

と き：2017年7月11日 (火) 18:30~20:30
 ところ：土佐堀YMCA 904・5号室
 会 費：ビジター 1000円

司会；北村 知三

1. 開会の鐘 北村知三 直前会長

2. クラブソング

於：6月例会

3. ゲストメネット紹介

4. 会長交代式・新旧会長 挨拶

5. 入会式 田尻忠邦氏 ・ご挨拶

6. 日々の糧 斉唱・晩餐

7. 「K I C K - O F F 例会」

・新会長方針と各事業委員長・委員の
今期の計画について

Yサ・ユース；牟、国際交流；脇本、

EMC；尾和、CS；豊島、メネット；脇本

HHリーダー会；リーダー会の活動報告他、

8. 誕生日・結婚記念日のお祝い・ニコニコ

9. インフォメーション

10. YMCAニュース

11. 閉会の鐘 牟 大盛 会長

受付；脇本・尾和・北村メネット



【第2例会のご案内】

と き：2017年7月18日（土） 19：00～21：00

と ころ：大阪土佐堀YMCA 701号室

（変更になることもあります）

◆メンのお誕生日：該当なし

◆メネットのお誕生日：末岡玲子（4） 脇本真知子（28）

◆ご結婚記念日：該当なし

【巻頭雑感】

清水 汎

グローバルの時代、AI技術（人口頭脳）その他新しい技術で先取りする事業が国家戦略で行うことが3大大国、米、中、ソで進んでおり、我が国は個々の事業で行っているが、気が付けば手遅れになっている状態があると思われます。ゆとり教育、ほめて育てる教育が、ここ10数年おこなわれてきましたが、これ等の教育で世界の競争社会に生き残れるか大変疑問であります。

最近電機メーカー、IT企業、その他の世界で生き残れない企業が多々出ています。従業員の家庭でも企業のリストラ、合併、整理等で貧困化が進んでいます。6人に1人が貧困児童と言われ、また半数近くが貧困家庭に近い存在と言われています。人の教育は、幼児時期、保育所、幼稚園の時に感受性の高い知的能力を高める教育をしていると、自然に人としての能力が十分に発揮できるようです。

日本は自然災害も多く、地政学的にもいろいろと問題がありますが、四季の風土、水、環境等、人間が生活する上で最も優れたものがあります。その日本人を最も優れた人類に役立つ事が出来る人間に変え

ていくには、教育しかないように思います。国家も大国に対抗する国家戦略を技術革新で行い、企業が生き残る戦略を立てることが必要と思われまます。

これからの逆境の時代に生き残る教育は如何なるものか、早急な検討が必要と思われまます。

【6月第2例会・役員会報告】

日時：2017年6月20日（火） 19:00～20:35

場所：大阪YMCA 701号室

出席者：北村知三会長・濱添吉生連絡主事・牟書記

協議事項：

- 1) ー7月例会；7月11日（火）午後6時半～8時半（KICK-OFF,EMC-C） 場所；Y9F
田尻忠邦氏入会式実施 ー会長・事業委員長の方針発表
受付；脇本・尾和・北村メネット、入会キットを準備する。
ー8月納涼例会の件；8月8日（火）午後6時半から、場所；キャッスルホテル
例会内容；「私の履歴書・人生観」（過去・現在・未来） 司会；尾和メン
会員・ビジター全員に語っていただく例会とする。（一人5分前後）
会費について 6千円 参加者について；ご夫婦同伴をお願いする。
ー9月例会の件；メネット月間
例会内容ー脇本麻由子先生 「小児麻酔ボランティアのお話」
司会；脇本メネット、謝礼 1万円、
ー10月例会・11月例会の講師は、中西部 スピーカーバンクを利用する。

2) 協議事項

①他クラブ周年記念の件

- ー大阪茨木クラブ；創立25周年例会 9月2日（土） 11:00～
場所；茨木スカイレストラン 会費 5千円、北村会長・牟書記参加
- ー芦屋クラブ；創立20周年例会 12月23日（土） 13:00～
場所；竹園芦屋 会費；1万円 ；7月例会で確認

②部会の件；7月例会で回覧して、出席者を確定する。

- 9月10日（日）京都部会、9月16日（土）阪和部会、9月18日（月祝）中部部会
- 9月23日（土）中西部会（グランビアH）、9月24日（日）六甲部会
- 10月1日（日）九州部会、10月14日（土）瀬戸山陰部会、10月28日（土）西中国部会
- 11月5日（日）びわこ部会

③確認事項

- ーHH国際キャンプ；2017年8月1日～8月6日の件；募集の件ー試験日と重なり低調との事
- ークラブとしては、チャリティ寄席の基金10万円を支援する。
- ー同時に、クラブ会員へは、HH国際キャンプ支援金の要請を、7月ブリテンに載せる。

④その他 協議事項の件

- ー例会の場所変更の件；7月、9月 904・5号、その他；102・3・4号室
- ー会員動向；6月末 村井達司メン 退会、 7月 田尻忠邦氏 入会式

ー7月からの、新年度クラブ会費（年間7万円、半年3・5万円）の振込先をブリテンに載せる。

⑤ブリテン編集の件

7月からは、聖句と聖句に寄せての欄を、田尻忠邦氏をメインに、藤岡宏樹氏をサブとして、掲載を依頼する。

【6月出席状況】

区分	在籍数	出席数 (%)	メネット	ビジター ゲスト
正会員	12	8 (66.7)	1	7
広義会員	1	0	0	
計	13	8	1	7

☆ニコニコ献金； 10,000円

★メネット；脇本真知子メネット会長

★ビジター；大村肇（次期中西部部長）、何早林（次期中西部会計）

中村茂高（次期中西部書記）、入江保夫（次期Yサ・ユース主査）

丹吾 礼（次期中西部EMC主査）

★ゲスト；勝矢千晶（HHリーダー会）、林貴子（大阪Y職員）

以上

【2016年～2017年会長役を振り返って】

北村 知三

今年度特筆すべきは、何といても昨年8月のHH国際キャンプ大阪大会が、クラブの主要な事業として実施され、大きな成果を上げたことです。特に8月8日のウェルカムパーティでは中西部からの支援を得て、香港などアジア各地からのHHキャンプ参加者を盛大に迎えました。区大会では、クラブのこの支援が評価されて、「ユース最優秀クラブ賞」を受賞致しました。

9月初めIBCのパサディナクラブに藤岡さんのコメントを交換留学生として派遣。その後年末にかけて、中西部会など各地の部会への参加、チャリティラン、土佐堀カーニバル、YYフォーラム、茨木クラブとの合同クリスマス祝会など行事が重なりました。今年に入っても中西部の合同新年例会、親子クラブ関連の周年記念例会などに参加し、HHファンドのため桂吉弥さん落語会を実施しました。中西部の「ウナギの森ワイズのもり植樹祭」と「六甲に集まろう会」にも参加できました。中西部のスピーカーバンクに例会での卓話を二人の方にお願ひし実現しました。毎月のいこいの家ホームレスへの炊き出し献品支援も続けております。しかし出席の要請がありました子クラブ周年記念例会などの内、遠隔地であるために残念ながら参加できないこともありました。東山壮での東西ワイズメンズクラブ交流会にも出席できず申し訳なく思っております。クラブから田尻さんだけでも参加していただいたことを、ありがたく思っています。

各事業とも一部の人たちだけの活動に終わり、事業種類においてかたよった傾向となっております。例会の進め方とともに、出来るだけ多くの方々が少しずつでも活動に参加することが、奉仕クラブとしての意義ある活動になると思います。またここ数年の課題として、メンバー増員がすべての問題を解決できる、との思いで色々な方法を模索しましたが、有効な実施はできないでおり、暗中模索は次年度へ持ち越

されることやむなさに至りました。

私自身例年通りの行事参加は何とかできたように思いますが、クラブにとってはマンネリというなかに停滞するだけです。記憶力と共に体力が衰えてきております。先だつての熊本の西日本区大会で印象深く感じたことは、ワイズダムの理想の実現には、情熱が必要であること。大会2日目の理事交代のときに、岩本理事が最後のあいさつで涙されるのを見ました。地震を超えて一年間懸命にやり遂げられたことのなかに、ワイズダムへの情熱があったことと思います。

年度初め、会計を引き受けて下さった村井さん、ブリテンの清水さんにはご苦勞をおかけしました。また書記の牟さん初めメンバーのみなさま、至らないことの多かった2年間を支えていただいたことに感謝申し上げます。

【今期の会長方針について】

牟 大盛

私が、今期で3回目の会長として選出されました。

入会時から、比較的若い部類でしたが、入会后20年近くになるいまだにそのまま若い部類です。このことは、その間の入会会員がいかに少なかったかの証左と言えます。その間、大阪クラブは聴覚障がい支援に軸足を移し、HH (HARD OF HEARING) リーダー会が発足し、今や国際キャンプを主催者側の指導者として活躍をしておられます。近年の彼らの活躍が認められ、6月の西日本区大会では「ユース支援最優秀クラブ賞」を受賞しました。私は、このHHリーダー会からのクラブ新会員の入会を期待しています。

今期の標語を「隣人愛を実践しよう！」としました。これは、クラブ会員相互の隣人愛は勿論、ワイズが標榜するすべての分野での隣人愛の実践を意味します。

また、今年8月1日から6日間、台湾の事情により昨年に続き台湾でHH国際キャンプを開催します。このため、中西部の皆さんの協賛による「チャリティ寄席」の収益金とクラブ会員の協賛をもって支援したいと思います。

8月の納涼例会では、外部からの出演者を募ることなく、クラブ会員ご夫婦のご参加のもと、各々近況を話していただき、相互のご理解の一助とし、今後のクラブの発展としたいと思います。

また、9月から始まります各部会へは会員のご協力で、できるだけ参加したいと思います。同時に10月のチャリティラン、11月の土佐堀カーニバルも例年通り参加、ご奉仕したいと思います。長年相互交換として来ました、パサデナクラブとのホームステイ事業は、事情により来年に順延となりました。

7月には、田尻忠邦氏が、大阪YMCAに所属されながら、正式会員として入会されます。田尻氏の、国際的なご経験とご見識は、我が大阪クラブを大きく発展成長させて下さるものと確信しております。

12月は、大阪茨木クラブとの合同クリスマス例会です。1月のクラブ新年会と中西部新年会には多くの会員の参加をお願いいたします。また、2月には9月の中西部会とは別途に、初めて中西部メネット会を持ちます。

今期は、来年のクラブ創立90周年に向けての大事な年となります。そのためにも、クラブ内外により密なコミュニケーションをもって、より一層の活性化を計りたく思います。

皆様の、ご協力をお願い申し上げます。

【6月例会報告】

清水 汎

6月例会が6月13日（火）大阪YMCA会館10Fで行われました。

今月は次期中西部長訪問日で、大村次期部長の来期の中西部方針等が表明されました。同伴者として部キャビネット中村次期書記、何時期会計、入江次期Yサ・ユース主査、丹吾次期EMC主査が参加されました。他にHHリーダー会の勝矢さん、林さんの参加がありました。

晩餐後、大村次期部長より2017-2018年度 部長方針、活動計画を発表され、主題として「未来には、希望がある」とされました。活動方針として、(1)楽しい例会の企画と他クラブとの交流、(2)EMC活動の推進支援、(3)中西部の継続事業を各クラブが連携協力する。

活動計画としてYサ・ユース事業として六甲に集まろうの事業と、YYYフォーラムが同時10月7日（土）開催の計画。地域奉仕、環境事業としてワイズの森づくり（うなぎの森）事業の継続。東日本大震災、熊本地震の復興支援。EMC事業としてEMCシンポジウムを9月30日開催。中西部EMC推進チームを編成し新入会員の増強、青年会員の獲得推進。国際交流事業として他クラブへの積極的訪問、IBC、DBCの締結の促進。BFファンド、EFファンドの積極的募金活動。メネット事業として2018年2月ごろピンクTシャツを全員が着てメネット会を実施。中西部会でのメネットアワーは開催しない。部行事予定、2017年9月23日（土）ホテルグランビアで中西部会開催。合同新年会、評議会6回開催予定。

中村次期書記、何次期会計、入江次期主査、丹吾次期主査よりそれぞれ活動方針の報告がありました。HHリーダー会の勝矢さん、林さんが藤岡メン、條メンとHHキャンプの報告がありました。

北村会長の今期のクラブ活動報告、牟書記、豊島副会長から大阪クラブの国際交流、EMCその他の報告があり、浜添主事からYMCAニュースの報告があり、閉会となりました。

【大会で最優秀クラブ賞を受賞】

北村 知三

熊本で行われた第20回ワイズメンズクラブ西日本区大会で、Y'サ・ユース事業最優秀クラブ賞を受賞しました。大会2日目の6月11日（日）今年度の各事業活動報告の最初に、堤主任からY'サ事業の活動報告がありました。報告の後、「Y'サ・ユース最優秀賞」の発表があり、中西部の西野部長が壇上に呼ばれ表彰を受けました。中西部の受賞は、国際HHキャンプに対する支援と、うなぎの森植樹祭に多くの子どもたちやユースリーダーが参加したことが評価されたものです。

そしてそのあと、「Y'サ・ユース最優秀クラブ賞」として大阪クラブが選ばれたことが発表されました。会長の北村が壇上に呼ばれ、岩本理事から表彰状と盾をいただきました。これはもちろん、昨年8月に大阪YMCAが主催したHH国際キャンプ大会を支援したことが評価されたものです。クラブの支援内容のなかで、大会のオープニングセレモニーでの中西部からの支援、西日本区からの支援金、落語会やYMCAのクリスマス献金、そしてクラブのメンバーのなかでも多額の献金をなされた方々などのおかげで、全体として100万円に達するほどの支援金額となりました。また六甲山YMCAでのキャンプ中に、スイカお菓子など持ち込んでキャンププログラムに人的物的に協



力しました。

大阪国際HHキャンプの成功は、クラブとしてこの献金額とともに、その実施運営において、藤岡さんとHHリーダー会の実行力のおかげであり、彼らの素晴らしい活躍によって、この名誉ある表彰を受けることができたといえることができます。西日本区の岩本理事と、堤主任に感謝です。

【西日本区大会に参加して】

清水 汎

2017年6月10日、11日に第20回西日本大会が開催され、会場として10日は熊本菊池市文化会館で西日本区アワーが、懇親会は熊本日航ホテルで開催されました。全国より750余名の参加があり盛大に挙行されました。天気も梅雨入りでしたが日本晴れで神も祝福されたと思います。前日9日に前夜祭が行われました。

9:00より役員会、準備役員会、代議員会、元理事懇談会、メネットアワー、連絡主事の会が開催されました。同会館で、12:45からオープニングセレモニーが開始され、13:00より開会となりました。岩本理事の開会宣言、点鐘が、聖書朗読、開会祈祷が田上クリスチャニチ委員長よりあり、歓迎の挨拶が熊本にシクラブ岩田会長より、来賓挨拶として菊池市江頭市長、日本YMCA神崎総主事、アジア太平洋地区タン会長、東日本区利根川理事がありました。岩本理事挨拶のあと、年次代議員会報告が亀浦書記からありました。メモリアワーでは、石橋元メンバーの紹介がありました。

休憩の後、熊本水前寺クラブ国際協会加盟認証状伝達式が木佐貫EMC主査より行われました。各部の部長報告が、亀浦書記司会のもと行われました。そのあと奈良伝賞授与式があり、近江八幡クラブの堀江メンが授与されました。熊本地震活動報告が25分上映され、多くのYMCAスタッフ、ワイズメンメンバーが、その復興活動に参加されていたのが記録されていました。感動しました。

閉会となり、懇親会場のホテル日航熊本へ移動しました。19:00より懇親会のオープニングとなり岩本理事の開会挨拶、熊本にシクラブのメンバーである熊本市長の立派な挨拶があったのは驚きでした。食前感謝の後、遠藤前理事の乾杯があり、森田事業主任よりDBC締結式の紹介がありました。新クラブ紹介として北京都フロンティア、熊本水前寺の紹介がありました。熊本地震の映像があり募金もあり、皆さんの協力で50万円以上の募金が集まり、熊本YMCAに寄贈されました。閉会挨拶が次期理事、大野勉メンよりあり、21:15よりフェロシップアワーが行われました。

6月11日(日)第2日は、ホテル日航熊本で開催されました。8:00より聖日礼拝が行われ、立野チャブレンより説教があり、8:30終了、8:40より報告、表彰、引継ぎ式がありました。事業主任の報告並びに表彰が行われ、その後各部各クラブの表彰があり、大阪クラブは、Yサ・ユース事業で最優秀賞を受賞しました。休憩の後、理事、役員引き継ぎが行われ、入佐実行委員長の謝辞、岩本理事の開会宣言、点鐘が行われ、閉会となりました。

熊本大震災が2016年4月に発生、2017年6月にこのような立派な大会を開催され、熊本の皆さんの努力に頭が下がる思いです。開催スタッフ皆さんのきめ細かい手配、いろいろの企画プランに、心のこもった配慮がありました。岩本理事の感涙に参加者も感激しました。九州部は、30名近い増員



で300名を超え、京都部も40名近い増員で525名となったようです。他地区は減少が続いている処もあり、この差は何故か、研究の余地は大いにあります。ワイズに対する心意気が違うのではないかと思います。

大阪クラブよりの参加者は、北村、豊島、清水メン、メネットの4名でした。エクスカーションで、熊本城震災の見学、昼食、水前寺公園見学があり、17:00の新幹線で帰阪しました。疲れましたが、熊本の皆さんの元気を頂きました。

【新年度会費納入のお願い】

脇本 博

今期会計のお役目をいただきました。皆様ご協力の程お願い申し上げます。
できるだけ下記の口座への振り込みを利用して頂ければ有りがたいです。

三井住友銀行 玉造支店 普通 口座番号 4078203
名義：脇本 博

7月キックオフで前期分が35000円です。
よろしく願い申し上げます。

【大阪YMCAニュース】

濱添 吉生

<第290回 早天祈祷会>

日時…7月21日(金) 7:30~8:30

証し…岩坂 二規 氏

場所…大阪YMCA会館 10階チャペル

<サマーセミナー 運営ボランティア募集>

日時…7月30日(日) 9:00~16:30

場所…大阪YMCA会館

とさぼりサマーセミナーはボランティアによる企画・運営のもと「家族で楽しい街の学校」をテーマに行っています。今年も共にセミナーを盛り上げていただける当日運営ボランティアを募集しています。新たな出会いがあなたをお待ちしております

<2017年台北YMCA主催HH国際キャンプ>

台北YMCA主催第37回聴覚障がい青少年国際キャンプ第一報

目的：①生活と作業をともにすることで、国際協力と相互理解を深める。

②聴覚に障害を持つ青年の異文化交流と仲間づくりのネットワークを広げる

③自己啓発、自尊心の育成、自信を獲得し、自助努力の機会を提供する

主催：台北YMCA

日程：2017年8月1日~6日

会場：台北・アイラン

対象：聴覚に障がいを持つ16歳から35歳の青年、120名

参加費：400米ドル（渡航費は含まず）

<とさぼりカーニバル>

毎年地域の方々やYMCAに携わる人たちの集いの場となっている『とさぼりカーニバル』を、今年度も開催いたします。カーニバルがYMCAのムーブメントであることを特にこのときに覚え、皆様のご協力のもと、更に盛大に、意味あるプログラムにしたいと願っております。皆様のご参画とご協力をよろしくお願い申し上げます。

開催日時： 2017年11月3日（金 祝日）
11:00～15:00（ブース終了は14:00）

○ブース出店のお願い

※各ブースの収益金は、クリスマス献金として国際協力活動、地域活動、青少年育成活動、個別支援プログラム等に活用させていただきます。

○協賛のお願い

ワイズメンズクラブ皆様には、平素よりYMCA運動を共に支えてくださり、多大なるご支援とご協力に心より感謝を申し上げます。とさぼりカーニバルにおいても新たな目で地域の中でのYMCAの存在を見つめる機会とし、より一層様々な人が集うプログラムにいたしたく、今年も協賛のご協力をいただければ幸いに存じます。

※協賛内容 10,000円 主に抽選会の景品に活用させていただきます。

【ワイズ川柳コーナー】

私の作品を含め川柳コーナーを設けました。遠慮なしに投稿下さい。

世の義理 を 大方終 えて 荷を下ろす	高売 のセンス はツボ を外さない	国政 も 風の流れて 何処 に向く	信頼 が 愛に変わった 至近距離	風 よんで 夫婦 の距離 が 伸びちぢみ	HH キャンプ 大賞受賞 励まされる
---------------------------------	----------------------------	-------------------------------	---------------------------	-------------------------------------	-----------------------------

【編集後記】

梅雨となり、不順な天候が続いています。皆さんお身体を大切にしてください。雨も、農業の方に少しでも手助けが出来ることを、又豊作を祈っています。

期初めの記事ですが、今期も1年担当いたしますので、宜しくお願い致します。

(編集委員：清水 汎)